

**製品名: PKC  $\alpha$  ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21177**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:500-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:77kD;Observed MW:77kD

**抗原情報**

遺伝子名	PRKCA
別名	PRKCA;PKCA;PRKACA;Protein kinase C alpha type;PKC-A;PKC-alpha
遺伝子 ID	5578.0
SwissProt ID	P17252
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

**背景**

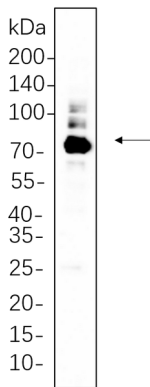
細胞局在: 膜、細胞質。プロテインキナーゼ C (PKC) は、カルシウムおよびセカンドメッセンジャーであるジアシルグリセロールに

よって活性化されるセリンおよびスレオニン特異的プロテインキナーゼファミリーです。PKCファミリーメンバーは、多種多様なタンパク質標的をリン酸化します。また、多様な細胞シグナル伝達経路に関与することが知られています。PKCファミリーメンバーは、腫瘍プロモーターの一種であるホルポールエステルの主要受容体としても機能します。PKCファミリーの各メンバーは特異的な発現プロファイルを持ち、細胞内で異なる役割を果たしていると考えられています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、PKCファミリーメンバーの1つです。このキナーゼは、細胞接着、細胞形質転換、細胞周期チェックポイント、細胞容積制御など、さまざまな細胞プロセスにおいて役割を果たすことが報告されています。マウスを用いたノックアウト研究では、このキナーゼが心筋細胞における心収縮力およびCa(2+)ハンドリングの基本的な調節因子である可能性が示唆されています。 [RefSeq 提供、7月2日]

## 研究分野

-

## 画像データ



Hela-2 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を PKC $\alpha$  ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。